

### 3 火災対策

#### (1) 地震発生に伴う火災時の避難誘導と点検

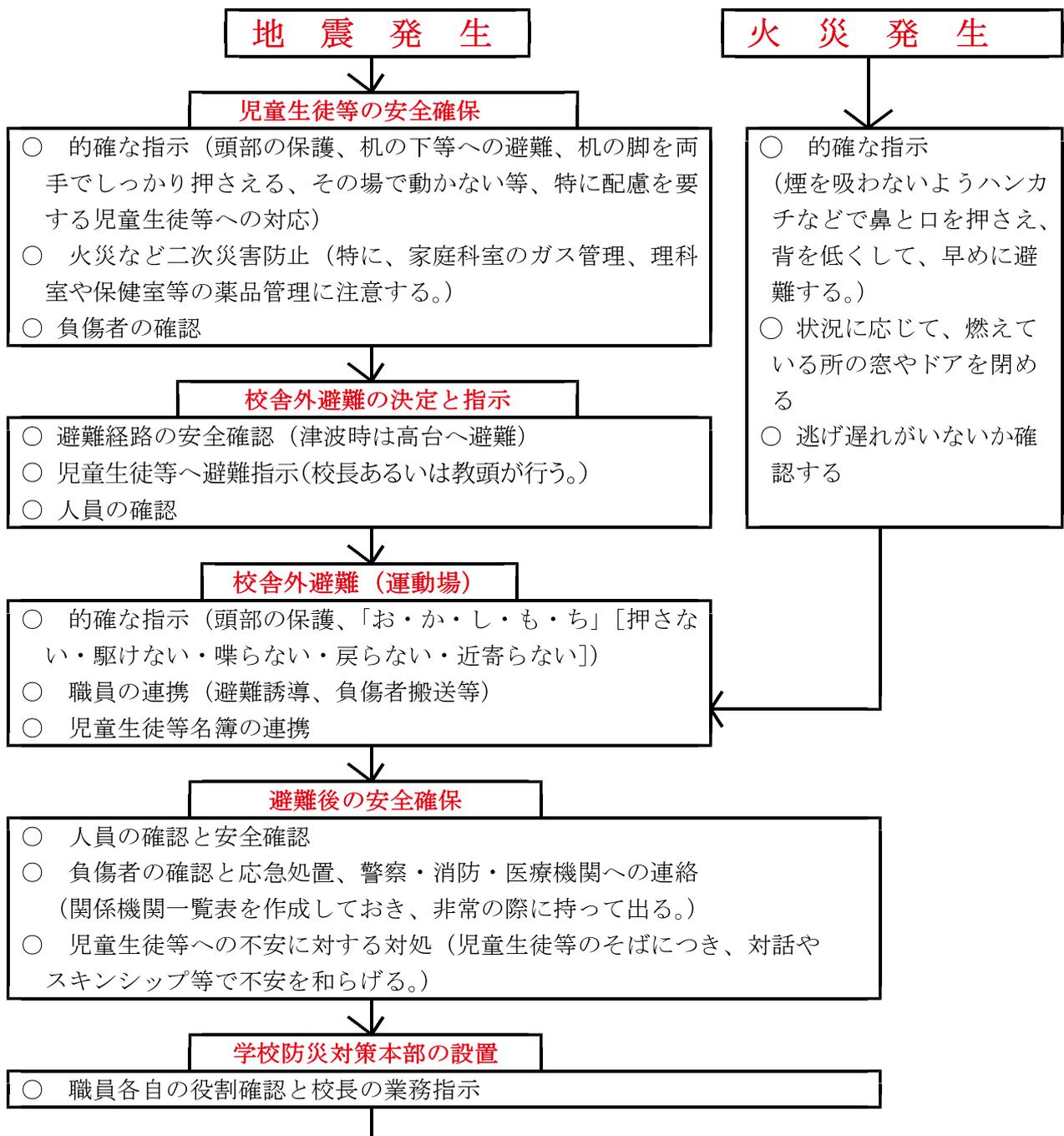
##### ① 避難経路の選定と安全確保

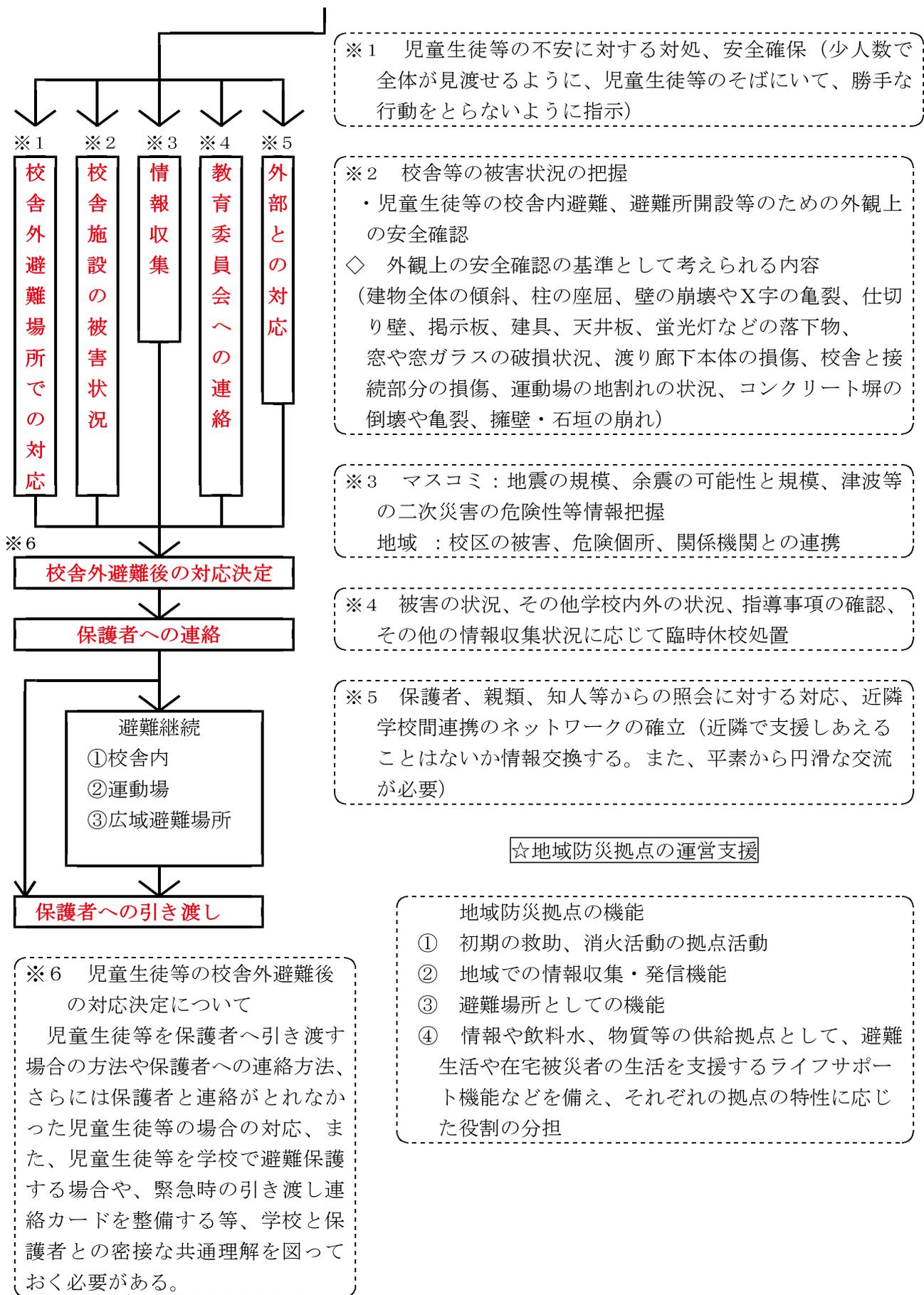
<避難経路の選定と安全確保>

- ・ 避難方向は二つ以上確保するとともに、的確に指示する。
- ・ 避難経路図を作成し、児童生徒等に周知徹底する。
- ・ 勝手な行動はさせない。
- ・ 避難者が多い場合は、特定の階段や非常口に殺到しないように避難誘導員を配置する。
- ・ 避難階の（1階）の階段出入口や玄関等を開放する。
- ・ 避難階段、通路、ロビー、ホール等には、避難上支障となる物品を置かさない。

<安全確保>

◎学校生活上の基本的対応





## ② 人員点呼

- ア 避難後の児童生徒等の点呼、安全確認を行う。
- イ 逃げ遅れた人がいた場合は、直ちに消防隊に連絡する。

## (2) 初期消火と救護

### ① 初期消火

- ・ 初期消火とは、火が天井面に移る前に消火することです。（消火器は下から、水バケツは上から消火する。）
- ・ 消火は出火から3分以内が勝負。炎を恐れず勇気を出して、落ち着いて初期消火をする。
- ・ 消火に使うものは消火器や水だけではなく、身近なものを活用して、すばやく対応する。

#### ア 消火器の使い方



安全ピン（黄色）を抜く



レバーを強く握る



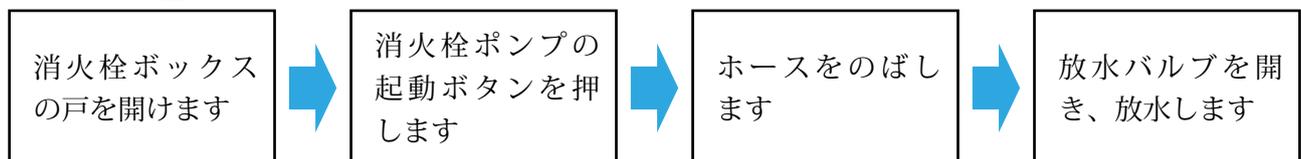
ホースを火元に向ける

#### ◎ 消火方法

- ・ 手前から掃くように放射する
- ・ 油鍋には近づけすぎない（油が飛び散って危険）
- ・ 屋外では風上から放射する

注) 消火器で消せるのは、火が天井に達するまで

#### イ 屋内消火栓の使い方



#### ウ 水バケツの使い方

- ・ 反動をつけて水を遠くまで飛ばす
- ・ バケツリレーは交互に向かい合って中継しよう



### (3) 避難訓練実践例

#### ① 実施日時

平成〇年〇月〇日 午後〇時～

#### ② 災害の想定

午後〇時に強い地震が発生し、二次災害として家庭科室より出火

#### ③ ねらい

- ・ 地震、火災発生時の基本行動を理解し、的確に対処できる態度や能力を身につけさせる。
- ・ 教師の指示をしっかりと聞き、避難経路に沿って安全に移動できるようにする。

#### ④ 指導内容

ア 事前指導（朝の会、帰りの会、ホームルーム活動等、学校種に応じて10～15分程度）

内 容	指導上の留意事項
1 避難訓練の予告をする	・ 過去の避難訓練を振り返り、問題点などについて話し合い、避難訓練のねらいや注意事項を確認する
2 非常ベルが鳴ったり、緊急放送があった場合の行動の仕方等について話し合わせ、把握させる	・ 地震の危険性や二次災害としての火災発生等について理解させる
(1) 避難経路の確認	・ 予告をしない場合の避難訓練も実施を試みる
(2) 集合場所	
(3) 行動の仕方	・ 基本行動の重要性について説明する
(4) 点呼	・ はしご車や救助袋等についても説明する
3 地震発生時の基本行動様式について説明し、確認させる	・ 地震が大変危険なものであることの認識と火災などの二次災害との関わりを指導する
・ 机の下に潜る	・ 初期行動の際、児童生徒等による負傷者や貴重品の搬出などを検討する
・ 火を使っている場合には、直ちに消化する	
・ 出入り口の確認と確保を行う	
・ 頭部を保護し、素早く避難する	
・ 「押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない、近寄らない」	
・ 火災が発生している場合は、鼻や口をハンカチなどで覆う	
・ 身近にある着用していない衣類などの利用	

## イ 避難訓練

内 容		指導上の留意点
<p>1 地震発生</p> <p>○ 指示例</p> <p>「大丈夫、静かにして落ち着きなさい」</p> <p>「外にでるな」</p> <p>「机の下に潜れ」</p> <p>「カバンなどで頭を保護しなさい」</p> <p>「放送をよく聞いて」</p>	<p>1 火災発生</p> <p>○ 指示例</p> <p>「大丈夫、静かにして落ち着きなさい」</p> <p>「放送をよく聞いて」</p> <p>「ハンカチなどで鼻や口を覆って」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で明確な指示を出す</li> <li>・沈着冷静に指示し、児童生徒等の行動を掌握する</li> <li>・頭部の安全を守らせる</li> <li>・窓際、ロッカー付近の児童生徒等は、そこから離れさせる</li> </ul>
<p>2 避難誘導</p> <p>○ 指示後の措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火の始末</li> <li>・電源を切る</li> <li>・ガスの元栓を閉める</li> <li>・窓やドアを開け、避難経路となる出口の確保をする</li> </ul> <p>○ 校内放送の避難指示に従い、避難を開始</p> <p>「大丈夫ですか、けがをした人はいませんか」</p> <p>「今から避難をしますので、先生の後ろに並んで付いてきなさい」</p> <p>(校庭へ出て列を乱さずに避難場所へ向かう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年の場合は、指示だけでなく、安心するような言葉をかける</li> <li>・校内放送を静かに聞かせ、二次災害についての情報を得る</li> <li>・避難方法、避難場所を明確に指示する</li> <li>・負傷者がいないか、確認する</li> <li>・隣接学級と協力しながら、上履きのまま安全に避難させる</li> <li>・担任（教師）は、出席簿を持ってでる</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消火器による消火訓練なども実施する</li> <li>・はしご車による避難</li> <li>・救助袋による避難</li> </ul> </div>	
<p>3 人員確認</p> <p>(1) 人員を確認する。</p> <p>「○年○組はここに並びなさい」</p> <p>「静かに座って待ちなさい」</p> <p>(2) 本部の指示があるまで待機する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒等を落ち着かせ、素早く人員確認をし、学年でまとめ、本部に報告する</li> <li>・負傷者のある場合は、あわせて報告する</li> </ul>	

## ウ 事後指導

内 容	指導上の留意点
1 教室に戻り、避難訓練実施後の内容について話し合わせる (自己点検カード等の活用)	・児童生徒等の反省点、意見、感想などをまとめ、反省点については、そのような状況がなぜ現れたのかについて考え、改善すべきことを明らかにする
2 指示の通りにできなかった内容、問題となる行動などについて確認し、練習の機会を設定する	・次の避難訓練時には、どのようなことに配慮すればよいかをはっきりさせる

## エ 評 価

訓練終了後に、以下のことについて評価し、問題点の改善を図る。

- ・避難訓練の目的が理解でき、児童生徒等一人ひとりが真剣な態度で適切に行動できたか。
- ・地震が起きた場合の基本的な行動の仕方が理解でき、統一した行動がとれたか。
- ・友達や職員、周囲の人々に迷惑をかけない行動がとれたか。
  
- ・その他の評価の視点
  - (ア) 本部からの指示内容が適切であったか。
  - (イ) 職員の指示、避難経路、避難の誘導は、適切であったか。
  - (ウ) 集合場所は、適切か。
  - (エ) 避難場所での整列、人員確認、報告等は正確であったか。

### 【自己評価カードの例】

	反省項目	評価 (A, B, C)
1	「お、か、し、も、ち」が守れたか。	
2	校内放送を、よく聞いたか。	
3	先生の指示を、よく守ったか。	
4	真剣な態度で、参加できたか。	

#### (4) 学級活動指導案

##### ① 題材「火災と避難」

##### ② 本時のねらい

火災に際して、児童生徒等が自ら安全に、正しく行動する方法を理解させる。

##### ③ 展 開

過程	学習活動・内容	指導・支援上の留意点	資 料
導 入	1 火災の被害について調べたことを話し合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災の恐ろしさや適切な対策によって被害を軽減できることを把握させ、本時の学習意欲を高めさせる</li> <li>被害の状況、火災の実態、注意すべきことを事前に調べさせ、発表させる</li> </ul>	火災関連の資料や新聞記事等の活用
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     火災から身を守るために、どのように行動したらよいだろうか                 </div>		
展 開	2 火災からの被害を防ぐためには、どうすればよいか話し合う <ul style="list-style-type: none"> <li>学校にいるとき</li> <li>家にいるとき</li> <li>外出しているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの場合について、火災の未然防止や火災時にどのような行動をとればよいか、考えさせる</li> <li>普段から非常口や消火器具、避難器具について点検することの大切さを考えさせる</li> <li>特にデパートや映画館、駅など混雑の激しいところにおける避難について考えさせる</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>消火器の使い方</li> <li>はしご車での避難</li> <li>救助袋での避難等についても学ばせる</li> </ul> </div>	
	3 火災時にどのようにしたらよいか、基本となる行動や態度について話し合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災発生時の初期行動についてお、か、し、も、ち</li> </ul>	
ま と め	4 本時の学習をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災を想定し、練習を行うことによって、本時の学習のまとめとする</li> </ul>	

##### ④ 評 価

- 火災時の正しい避難の仕方を理解し、正しく行動できるようになったか。
- それぞれの場所での避難の仕方がよく理解され、行動できたか。